



外科部長あいさつ



外科部長 保 清和

祖母を思ふ

大正生まれの祖母が先日、他界した。胸椎圧迫骨折や両膝痛を抱えながらも最期まで自宅で一人暮らしを続けた。

喜界島という、奄美大島の離島で祖母は生まれた。尋常小学校を卒業するとすぐに、大阪に上り、軍事工場で働いた。大空襲で街が焼け、近くの川に飛び込み命からがら戦下の中、生きのびた。

祖父が過労で病に倒れ、帰らぬ人になったとき、祖母はまだ 40 代だった。学歴重視が顕著だった日本の高度経済成長期の時代、息子 2 人を大学まで進学させた。朝早くから夜が更けるまで、機（はた）で大島紬を織り、生計を立て、高額な学費をも捻出したようだ。

祖母の働く姿そのものが、母ら子供 5 人への人生教育だった。子育てがひと段落した 60 歳から、祖母は難解な宗教本を読んだり、書などを独学した。毎年送られてくる年賀状に書かれた祖母の文字が、努力すること、継続することの大切

さを私に教えてくれた。

昨年秋、私は大学院の学位審査後、博士号を取得した。その報告が祖母の顔を見た最後となった。その時、スラスラと人生格言を祖母が口にしました。

くよくよとものごと悔やむ 暇あれば 大小となく おこなえてみよ
ひとのこと 悪く見ゆるは おしなべて 我がこころの 汚なきゆえなり
にちにちに 己を責めて 世のひとを 褒むるはひとの本分なり

学位取得を手放しで喜ぶのでなく、「人生はこれから」と、孫のさらなる成長を願う祖母らしい祝辞と受け止めた。

祖母は骨粗鬆症で体は小さくなったが、心の器は大きいままだった。走り続けた 90 年の人生。少し休んで、天国で祖父との再会ができることを願っている。

看護部長あいさつ



看護部長 星 真理子

多職種連携の コーディネートの役割

昨年 11 月より看護部長に就任致しました星真理子です。

当院では「すべてのひとを、笑顔にするために」という病院理念のもと、地域に愛され、選ばれる病院を目指して日々業務に取り組んでおります。

2025 年問題に向け、病院機能の分化が求められ、医療と介護の連携が切れ目のない医療へと繋がって行きます。私たちは、患者様・家族様の思いを知り、生活を支え、寄り添う看護が出来るように多職種で関わり、在宅への支援を充実させて行かなければなりません。そのためには、入院時から退院後の生活を考え、それに寄り添った看護の提供が要求され

ます。

さらに近年は、患者様・家族様のニーズも多様化し、疾病を持ちながらも、出来る限り地域や家庭で自立した生活を送れるようにと医療・看護・介護のサービスの提供が求められ、ますます、多職種とのネットワーク構築が重要となっております。

看護師は、常に患者様に寄り添っており、多くの情報を持っています。だからこそ、他職種のコーディネイト役としてチームの要となり、チーム医療を提供していきたいと考えております。

今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

メディカルサロン・すまいるは 1 周年を迎えます

地域連携支援室 室長 高木 孝子



緑川院長を囲んで

2015 年 5 月に開設致しました「メディカルサロン・すまいる」は、おかげさまで 1 年が経とうとしております。

がんと診断された方、治療を受けられている方、そのご家族様、また、がん以外の慢性疾患でお悩みの方など、自由に参加し交流して頂いております。

初めは、参加者が 2、3 人程度でしたが、今では常時 10 人ぐらい集うようになりました。しかし、まだまだ知名度は低く、広報活動が必要だと感じております。

診療日の毎週火曜日、午後 2 時から 4 時まで開催しております。緑川院長をはじめ、がん性疼痛看護認定看護師、福島県緩和ケア研修会を終了した医療ソーシャルワーカーと管理栄養士等が出席し、参加者の皆様をサポート致しますので安心してご参加頂けます。参加費無料、申し込み不要です。

また、約 2 カ月に 1 回は、福島県立医科大学のがん治療～長期生存がんサバイバーシップケアモデル構築研究班と協働で、学習と交流が行われています。昨年度ご好評を頂いたミニレクチャーは、今年度も予定しておりますので、奮ってご参加ください。

詳しくは院内のポスターや当院のホームページ <http://www.kureha-hosp.com/> でご確認ください。



福島県立医科大学の三浦先生と参加者の交流

お問い合わせ 地域連携支援室
TEL : 0246 - 62 - 3178

第 91 回常磐医学会

「医療専門職部門賞」受賞



がん性疼痛看護認定看護師
小川 ひとみ

このたび第 91 回常磐医学会での発表に対し、医療専門職部門賞を受賞しましたことは、先生方をはじめ、スタッフの協力のお陰と心から感謝しております。

今回の演題は、在宅看取りをテーマにしたものでしたが、時代の流れとともに家族の形も変化してきていることに、私たち医療者も対応していかなければならないことを痛感し、現代の在宅緩和ケアについて学びの多い症例でもありました。

更に、在宅緩和ケア・在宅看取りを行う上で、多職種との協働が大切であることを改めて実感致しました。今後も皆様の期待に少しでも応えることができるように、努力して参ります。

合同研修会および連携のつどい

「第 11 回いわき南部地区在宅医療・介護多職種連携のつどいおよび合同研修会」の報告



平成 27 年 11 月 19 日（木）、ガーデンイベントホールにいわき南部地区の多職種総勢 134 人が集いました。

「倦怠感について」と題して当院院長・緑川医師の講演、「嚥下障害について」

と題して、ことの木リハビリステーション大平氏の講演が行われました。また、「多職種で在宅を支えるための疑問点を解決しよう」とのテーマでパネルディスカッションが行われ、活発な意見の交換と情報の共有が行われました。



「第 12 回いわき南部地区在宅医療・介護多職種連携のつどいおよび合同研修会」のお知らせ

日時：5 月 19 日（木）18：30～
場所：勿来温泉 関の湯
内容：講演「地域包括ケアシステム構築にむけて医療機関ができること」・その他詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

■地域連携支援室
TEL : 0246 - 62 - 3178

新任医師紹介



外科 月田 茂之

4月1日よりお世話になっております外科の月田茂之と申します。

出身は福島県中通りの玉川村という小さな村です。浜通りでの生活は今回が初めてですが、数日しか暮らしていないのに既に「良いところだなあ」と感じています。

医師として、外科医として、あるいは社会人としてまだまだ未熟者で至らな

い点も多いことと存じますが、皆様の力になれるよう精進して参ります。

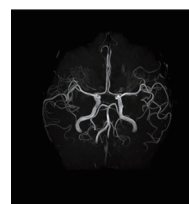
楽しく実りの多い仕事となりますよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

高額医療機器共同利用のご案内

呉羽総合病院では、いわき南部地域における地域医療機関との連携を図るため、「高額医療機器の共同利用」を推進しております。

先生方が診療中の患者様のうち、MRI 検査、CT 検査等の「検査のみ」を必要とする患者様をご紹介いただき、当院で検査を行います。結果報告の有無も選択可能となっております。なお、検査データは検査が終了したのち患者様へお返し致します。

「高額医療機器共同利用」につきまして、先生方に満足していただけるよう、先生方の要望等をお聞きするため、直接訪問させていただきます。



お問い合わせ

呉羽総合病院 放射線科
TEL : 0246 - 63 - 2181

1 回の採血で、複数のがんのリスクを評価！

アミノインディックス・がんリスクスクリーニング (AICS)

NEW

※ AICS (エーアイシーエス) とは？

AICS は血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんであるリスク（可能性）を評価する検査です。

「検査の対象となるがんの種類」

男性 5 種⇒胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性 6 種⇒胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん

AICS は、それぞれのがんについて、がんである確率を 0.0 ～ 10.0 の数値（AICS 値）で報告します。

膵臓（すいぞう）がんが
加わりました。

お問い合わせ

呉羽総合病院 健康管理センター
TEL : 0246 - 62 - 3075

外来新患の予約について

当院は、全科において外来新患の予約が可能となっております。
予約希望の患者様は右記までご連絡をお願い致します。

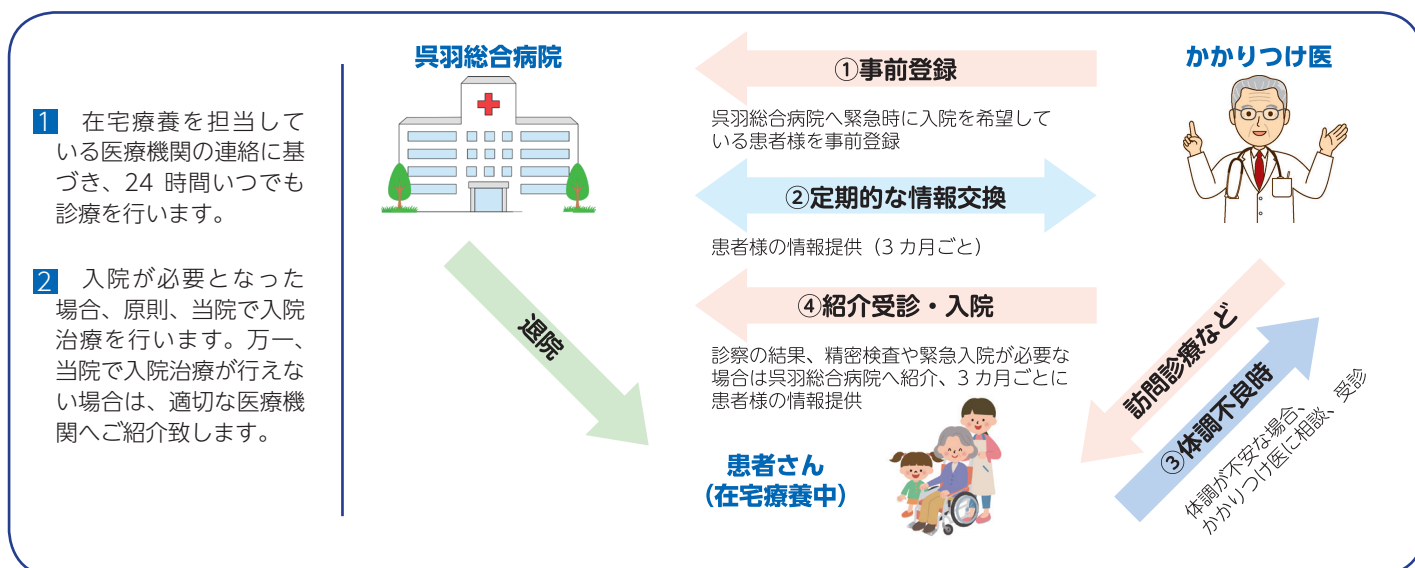
■ 予約時間
平日：14：00 ～ 16：00
■ 医事課
TEL：0246 - 63 - 2181

♪インフォメーション♪

在宅療養後方支援病院

在宅医療を支えるため、在宅療養中の患者様の緊急時には 24 時間迅速に対応し、必要に応じて入院の受け入れを致します。緊急時の対応には常に万全を期する必要があります。初めての患者様でも日頃より情報を把握しておけば、事前情報のない患者様とは全く異なる迅速な対応ができます。

当院では、在宅医療を支えるべく「在宅療養後方支援病院」として、在宅医療を受けている患者様の情報を事前に把握し、緊急時における迅速な対応“24 時間体制の後方支援”を行ってまいります。



登録医募集

呉羽総合病院は、病診連携の強化のため、登録医を募集しています。

登録は随時受け付けておりますので、登録希望時には、登録申請書に必要事項を記入のうえ、当院地域連携支援室まで郵送にて提出して下さるようお願い申し上げます。

登録医の利点について

- ① 地域連携支援室を通じて患者様紹介・逆紹介が円滑にできます。
- ② 登録医の紹介患者様は、優先的に入院ができ、お申し出により開放型病床がご利用いただけます。
- ③ 在宅療養後方支援病院として在宅医療を提供する医療機関のお申し出により、入院を希望する患者様の診療が 24 時間可能な体制を確保します。
- ④ 高額医療機器 (CT・MRI) を共同利用できます。
- ⑤ 図書の利用、文献検索ができます。
- ⑥ 定期的に連携便り・勉強会等のご案内をさせていただきます。

開放型病院 (オープンシステム)

病院の施設・設備の一部をかかりつけの先生に開放し、当院の医師と共同して診察を行うものです。

かかりつけの先生方と当院の医師が協力して、入院から退院まで一貫した診療を行うことで、今まで以上に継続的かつ合理的な医療を受けることが可能となります。

ご利用いただく為には、登録医になる必要がありますので、地域連携支援室までご連絡ください。

地域連携支援室

- TEL. 0246-63-2181 【代表】内線 168
- TEL. 0246-62-3178 【直通】
- FAX. 0246-62-2035
- E-mail t-takagi@kureha-hosp.com
- <http://www.kureha-hosp.com/>

■発行 社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院
〒974-8232 いわき市錦町落合 1-1
TEL. 0246-63-2181
FAX. 0246-63-0552
URL <http://www.kureha-hosp.com/>
発行人 中村 有二
編集 地域連携支援室